

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2012年12月調査）

2013年1月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

—今回調査の回収・集計状況—

今回調査は、2012年10～12月の実績と2013年1～3月の見通しを12月初旬時点でうかがったものであり、1,097社からご協力をいただき、回答率は43.9%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

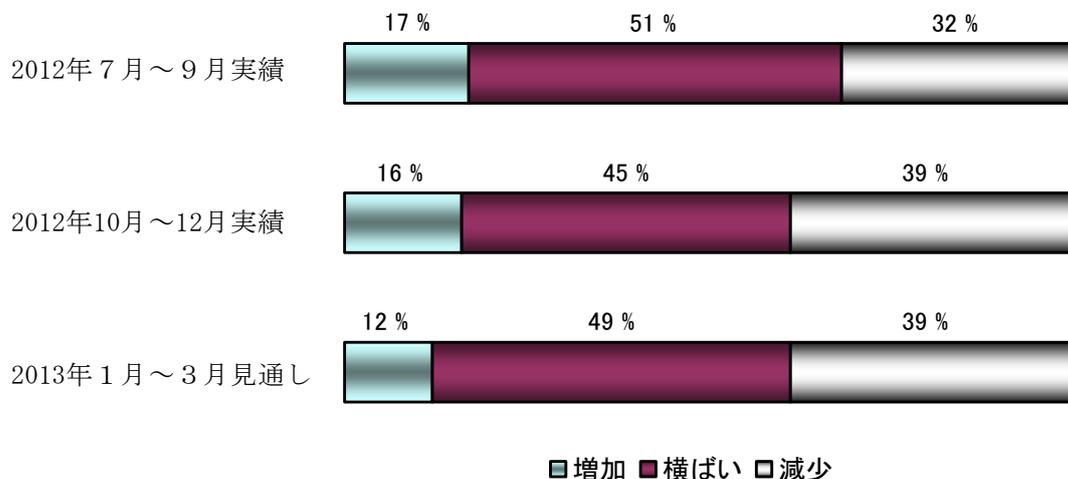
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	107	46.1
	繊 維 ・ 衣 服	111	47	42.3
	木 材 ・ 家 具	96	45	46.9
	パ ル プ ・ 紙	107	49	45.8
	化学・プラスチック	239	114	47.7
	窯 業 ・ 土 石	102	39	38.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	112	57.4
	金 属 製 品	128	57	44.5
	一 般 機 械	222	99	44.6
	電 気 機 械	333	127	38.1
	輸 送 用 機 械	251	101	40.2
	精 密 機 械	67	27	40.3
	そ の 他	167	58	34.7
	計	2,250	982	43.6
卸 売 業	生 産 財	124	62	50.0
	消 費 財	126	53	42.1
	計	250	115	46.0
合 計		2,500	1,097	43.9

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

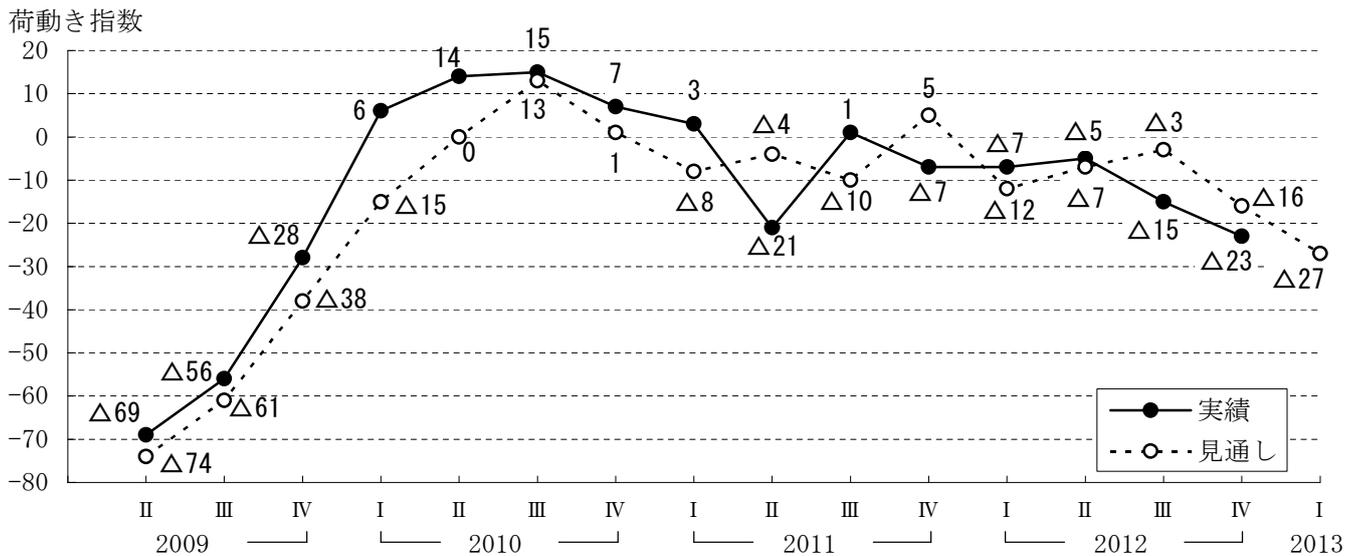
- 2012年10～12月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2012年7～9月）実績より1ポイント低下し16%となった。一方、「減少」との回答は前期より7ポイント上昇し39%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は8ポイント低下して△23となった。
- 2013年1～3月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2012年10～12月）実績（見込み）より4ポイント低下し12%となる一方、「減少」との回答は横ばいで推移して39%になる。この結果『荷動き指数』は4ポイント低下して△27と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



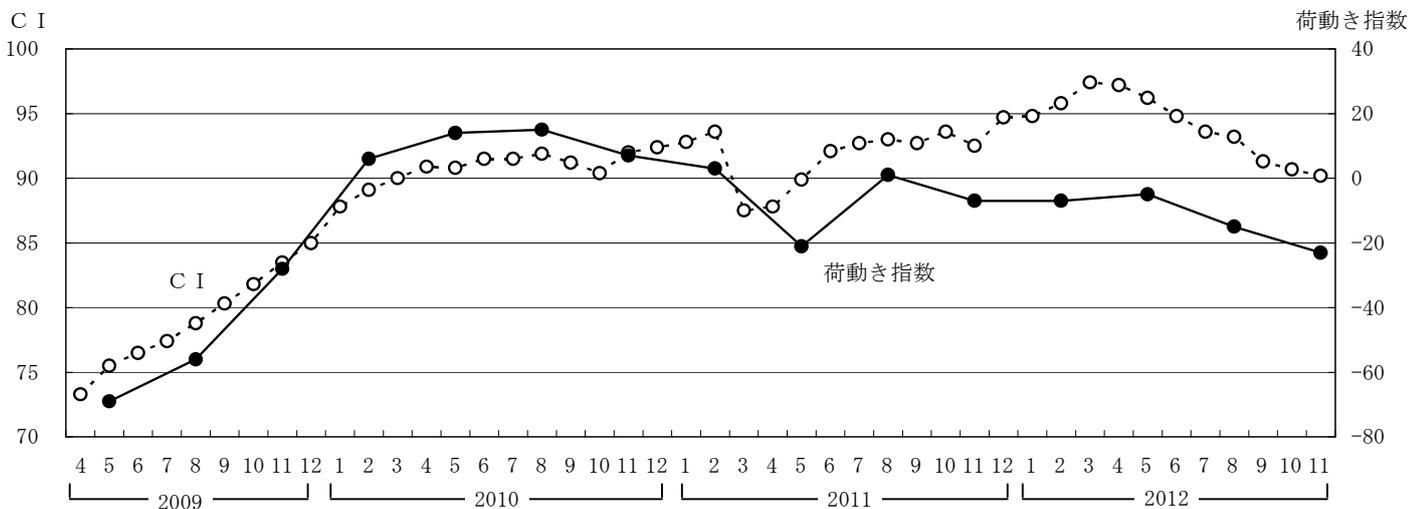
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2011年10～12月実績で△7とマイナスに沈んだあと、水面下の推移が続き、2012年7～9月実績（見込み）では前期比で10ポイント、10～12月実績（見込み）では同8ポイントの大幅な下落となった。さらに、2013年1～3月見通しにおいてもさらなる下降が見込まれており、ここに来て荷動きの停滞の度合いがいつそう増しつつある。

荷動きの実績（見込み）と見込みの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2013年I期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2012年IV期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数 (C I ; 一致指数) と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第14循環における景気の山は2008年2月、景気の谷は2009年3月となっている。

■ 2012年10～12月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、多くの業種において前期（2012年7～9月）実績よりも悪化がみられた。生産財卸が唯一プラスを示す以外は、残り14業種がマイナスとなった。

■ 2013年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、木材・家具がプラスに浮上する一方、大半の業種において『荷動き指数』の悪化が見込まれ、生産財卸もマイナスに落ち込む。この結果、広範囲の業種において、荷動きの減退圧力が強まる見通しである。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	106	21	52	27	△6	105	13	61	26	△13	
繊維・衣服	47	8	49	43	△35	47	17	38	45	△28	
木材・家具	45	24	45	31	△7	45	24	54	22	2	
パルプ・紙	48	21	35	44	△23	48	8	59	33	△25	
化学・プラスチック	112	13	54	33	△20	113	10	58	32	△22	
窯業・土石	38	24	50	26	△2	38	13	53	34	△21	
鉄鋼・非鉄	111	11	39	50	△39	111	5	47	48	△43	
金属製品	56	18	36	46	△28	56	5	41	54	△49	
一般機械	98	16	38	46	△30	99	15	36	49	△34	
電気機械	124	13	39	48	△35	124	13	37	50	△37	
輸送用機械	98	17	34	49	△32	96	11	44	45	△34	
精密機械	27	15	48	37	△22	27	22	48	30	△8	
その他	57	12	49	39	△27	57	9	51	40	△31	
計	967	16	43	41	△25	966	12	48	40	△28	
卸売業	生産財	61	23	56	21	2	61	18	54	28	△10
	消費財	53	17	53	30	△13	53	11	59	30	△19
	計	114	20	55	25	△5	114	15	56	29	△14
合計	1,081	16	45	39	△23	1,080	12	49	39	△27	

■ 2012年10～12月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、大半の地域において前期（2012年7～9月）実績よりも悪化がみられた。プラスの地域は皆無で、かつ全9地域で2ケタのマイナスを示した。

■ 2013年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、引き続きすべての地域において2ケタのマイナスとなっている。東海および九州・沖縄で小幅の改善がみられ、北海道においては横ばいで推移する一方、残りの地域ではさらなる悪化が見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

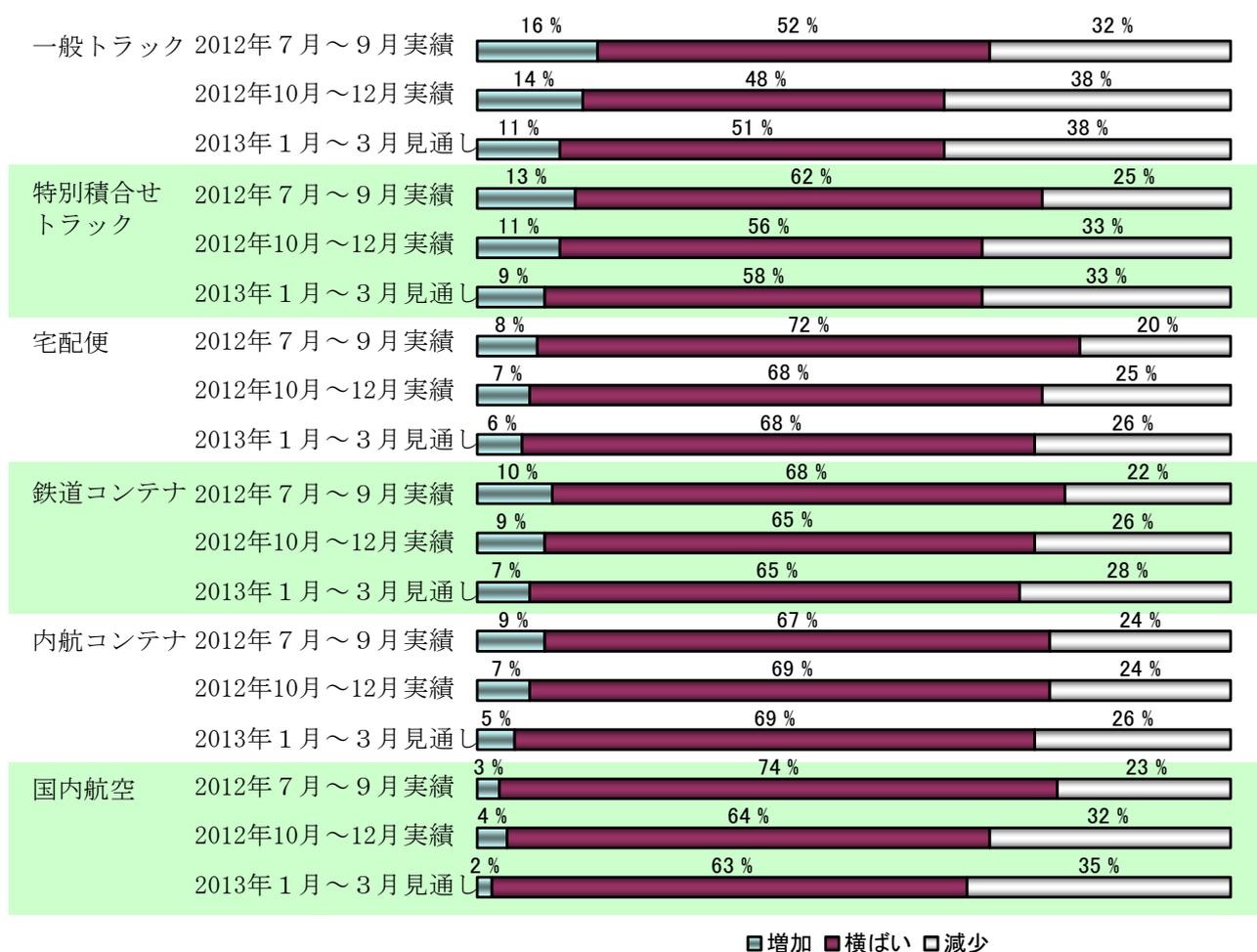
地 域	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	57	15	46	39	△ 24	57	9	58	33	△ 24
東 北	103	19	50	31	△ 12	103	17	50	33	△ 16
関 東	266	15	44	41	△ 26	266	11	47	42	△ 31
北 陸 ・ 信 越	104	17	39	44	△ 27	103	12	43	45	△ 33
東 海	169	17	39	44	△ 27	169	14	48	38	△ 24
近 畿	153	14	44	42	△ 28	154	10	48	42	△ 32
中 国	97	18	48	34	△ 16	96	15	51	34	△ 19
四 国	57	19	44	37	△ 18	57	5	51	44	△ 39
九 州 ・ 沖 縄	75	13	51	36	△ 23	75	13	54	33	△ 20
合 計	1,081	16	45	39	△ 23	1,080	12	49	39	△ 27

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2012年10～12月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、すべての輸送機関において、前期（2012年7～9月）実績よりも悪化し、かつすべての輸送機関で2ケタのマイナスとなった。

■ 2013年1～3月の見通しでは、すべての輸送機関において『利用動向指数』がさらに悪化し、かつすべての輸送機関で△20 ないしはそれを上回るマイナス幅となる。この結果、各輸送機関とも荷動きはいつそう減退する見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、全15業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△24で、前期（2012年7～9月）実績からは8ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準に浮上する一方、多くの業種において『利用動向指数』が悪化する。業種全体の『利用動向指数』は3ポイント低下して△27と見込まれ、利用の減退圧力はさらに強まるものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	105	21	52	27	△6	103	12	63	25	△13
繊維・衣服	38	5	58	37	△32	37	13	41	46	△33
木材・家具	44	25	43	32	△7	44	25	50	25	0
パルプ・紙	49	14	43	43	△29	47	6	56	38	△32
化学・プラスチック	112	12	52	36	△24	110	11	53	36	△25
窯業・土石	38	24	47	29	△5	38	18	56	26	△8
鉄鋼・非鉄	108	9	44	47	△38	107	4	48	48	△44
金属製品	57	12	48	40	△28	57	7	47	46	△39
一般機械	98	15	41	44	△29	98	12	40	48	△36
電気機械	113	11	40	49	△38	112	9	41	50	△41
輸送用機械	98	15	37	48	△33	98	13	47	40	△27
精密機械	22	9	68	23	△14	22	9	73	18	△9
その他	56	7	55	38	△31	55	5	59	36	△31
計	938	14	46	40	△26	928	11	50	39	△28
卸売業										
生産財	57	19	58	23	△4	57	18	54	28	△10
消費財	48	15	54	31	△16	47	6	60	34	△28
計	105	17	56	27	△10	104	12	57	31	△19
合計	1,043	14	48	38	△24	1,032	11	51	38	△27

(2) 特別積合せトラック

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無であり、食料品・飲料および生産財卸がゼロ水準で、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△22で、前期（2012年7～9月）実績からは10ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料および生産財卸がマイナスに沈むなど過半数の業種において『利用動向指数』が悪化する。業種全体の『利用動向指数』は2ポイント低下して△24と見込まれ、利用はさらに減退するものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	67	18	64	18	0	66	13	67	20	△7
繊維・衣服	31	6	55	39	△33	30	13	47	40	△27
木材・家具	31	16	52	32	△16	32	9	72	19	△10
パルプ・紙	32	9	63	28	△19	30	7	60	33	△26
化学・プラスチック	98	11	66	23	△12	97	9	66	25	△16
窯業・土石	30	13	67	20	△7	30	3	77	20	△17
鉄鋼・非鉄	66	11	41	48	△37	66	10	45	45	△35
金属製品	42	12	45	43	△31	42	2	50	48	△46
一般機械	77	8	56	36	△28	77	6	54	40	△34
電気機械	99	10	49	41	△31	98	9	50	41	△32
輸送用機械	73	8	48	44	△36	73	7	55	38	△31
精密機械	16	6	50	44	△38	16	6	50	44	△38
その他	41	10	56	34	△24	41	7	61	32	△25
計	703	11	54	35	△24	698	8	58	34	△26
卸売業										
生産財	54	20	60	20	0	53	15	60	25	△10
消費財	36	11	72	17	△6	35	9	77	14	△5
計	90	17	64	19	△2	88	13	67	20	△7
合計	793	11	56	33	△22	786	9	58	33	△24

(3) 宅配便

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具および生産財卸がプラス、食料品・飲料がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△18で、前期（2012年7～9月）実績からは6ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料および木材・家具がマイナスに沈み、生産財卸もゼロ水準まで下降するなど大半の業種において『利用動向指数』が悪化する。業種全体の『利用動向指数』は2ポイント低下して△20と見込まれ、利用はさらに減退するものとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	79	15	70	15	0	77	5	79	16	△11
繊維・衣服	43	12	65	23	△11	42	14	62	24	△10
木材・家具	37	16	70	14	2	36	11	72	17	△6
パルプ・紙	24	8	67	25	△17	24	4	71	25	△21
化学・プラスチック	84	3	79	18	△15	83	5	77	18	△13
窯業・土石	29	7	69	24	△17	29	0	76	24	△24
鉄鋼・非鉄	72	3	69	28	△25	72	1	71	28	△27
金属製品	51	4	57	39	△35	51	4	53	43	△39
一般機械	92	4	71	25	△21	92	4	62	34	△30
電気機械	105	5	58	37	△32	104	3	60	37	△34
輸送用機械	79	6	69	25	△19	79	3	73	24	△21
精密機械	25	12	48	40	△28	25	20	48	32	△12
その他	46	9	65	26	△17	46	4	68	28	△24
計	766	7	67	26	△19	760	5	68	27	△22
卸売業										
生産財	51	14	75	11	3	50	16	68	16	0
消費財	37	3	78	19	△16	37	2	76	22	△20
計	88	9	76	15	△6	87	10	72	18	△8
合計	854	7	68	25	△18	847	6	68	26	△20

(4) 鉄道コンテナ

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無であり、繊維・衣服および木材・家具がゼロ水準で、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△17で、前期（2012年7～9月）実績からは5ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上する一方、木材・家具がマイナスに沈むほか、半数近くの業種において『利用動向指数』が悪化する。業種全体の『利用動向指数』は4ポイント低下して△21と見込まれ、利用の減退圧力はさらに強まるものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	53	21	53	26	△5	52	17	54	29	△12
繊維・衣服	11	9	82	9	0	10	20	70	10	10
木材・家具	22	14	72	14	0	22	0	82	18	△18
パルプ・紙	35	9	57	34	△25	34	9	56	35	△26
化学・プラスチック	81	10	69	21	△11	80	9	71	20	△11
窯業・土石	15	0	80	20	△20	15	0	87	13	△13
鉄鋼・非鉄	46	13	52	35	△22	46	15	46	39	△24
金属製品	26	4	65	31	△27	25	0	60	40	△40
一般機械	39	5	69	26	△21	39	5	69	26	△21
電気機械	37	8	62	30	△22	36	8	59	33	△25
輸送用機械	32	6	69	25	△19	32	3	75	22	△19
精密機械	9	0	67	33	△33	9	0	67	33	△33
その他	20	10	60	30	△20	20	5	70	25	△20
計	426	10	64	26	△16	420	8	65	27	△19
卸売業										
生産財	13	0	69	31	△31	13	0	62	38	△38
消費財	17	0	76	24	△24	17	0	76	24	△24
計	30	0	73	27	△27	30	0	70	30	△30
合計	456	9	65	26	△17	450	7	65	28	△21

(5) 内航コンテナ

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無であり、繊維・衣服、窯業・土石、輸送用機械の3業種がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△17で、前期（2012年7～9月）実績からは2ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準まで上昇する一方、窯業・土石および輸送用機械がマイナスに沈むほか、過半数の業種において『利用動向指数』が悪化する。業種全体の『利用動向指数』は4ポイント低下して△21と見込まれ、利用の減退圧力はさらに強まるものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	31	10	77	13	△3	31	6	81	13	△7	
繊維・衣服	8	25	50	25	0	7	29	42	29	0	
木材・家具	11	9	64	27	△18	11	9	82	9	0	
パルプ・紙	17	18	35	47	△29	17	6	53	41	△35	
化学・プラスチック	43	7	77	16	△9	43	2	79	19	△17	
窯業・土石	9	11	78	11	0	9	0	78	22	△22	
鉄鋼・非鉄	32	3	75	22	△19	32	0	75	25	△25	
金属製品	18	0	50	50	△50	17	0	53	47	△47	
一般機械	35	3	77	20	△17	35	8	63	29	△21	
電気機械	29	3	59	38	△35	29	7	52	41	△34	
輸送用機械	22	18	64	18	0	22	4	82	14	△10	
精密機械	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20	
その他	15	0	67	33	△33	15	0	67	33	△33	
計	275	7	68	25	△18	273	5	69	26	△21	
卸売業	生産財	8	12	63	25	△13	8	12	50	38	△26
	消費財	19	5	84	11	△6	18	5	78	17	△12
	計	27	7	78	15	△8	26	8	69	23	△15
合計	302	7	69	24	△17	299	5	69	26	△21	

(6) 国内航空

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無であり、繊維・衣服および木材・家具がゼロ水準で、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△28で、前期（2012年7～9月）実績からは8ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上する一方、木材・家具がマイナスに落ち込むほか、過半数の業種において『利用動向指数』が悪化する。業種全体の『利用動向指数』は5ポイント低下して△33と見込まれ、国内航空は全輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退圧力が大きい。

国内航空利用の実績と見通し

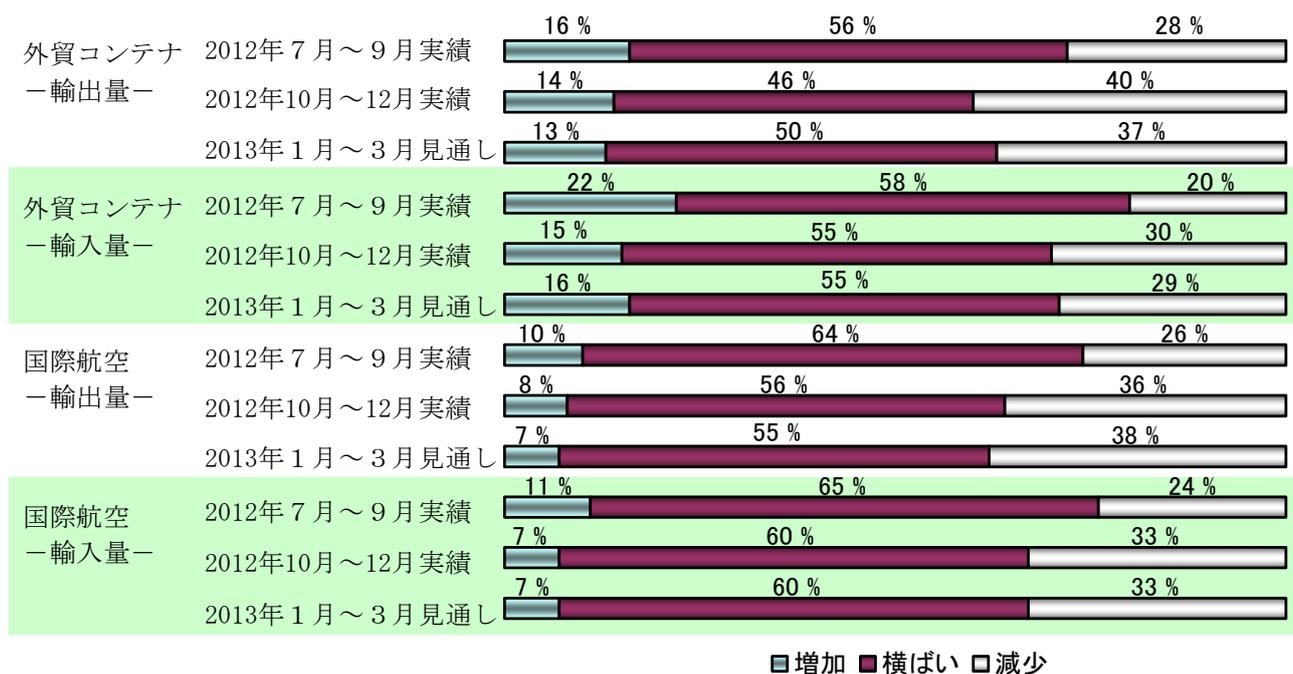
業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	26	4	69	27	△23	26	0	77	23	△23	
繊維・衣服	9	0	100	0	0	8	12	88	0	12	
木材・家具	10	20	60	20	0	10	10	70	20	△10	
パルプ・紙	5	0	40	60	△60	5	0	40	60	△60	
化学・プラスチック	32	3	75	22	△19	32	6	72	22	△16	
窯業・土石	11	9	55	36	△27	11	0	55	45	△45	
鉄鋼・非鉄	26	0	62	38	△38	26	0	54	46	△46	
金属製品	15	0	47	53	△53	15	0	53	47	△47	
一般機械	53	2	60	38	△36	53	0	57	43	△43	
電気機械	55	2	56	42	△40	54	0	57	43	△43	
輸送用機械	26	4	73	23	△19	26	0	77	23	△23	
精密機械	11	0	82	18	△18	11	0	82	18	△18	
その他	18	6	50	44	△38	17	6	47	47	△41	
計	297	3	63	34	△31	294	2	63	35	△33	
卸売業	生産財	14	7	79	14	△7	14	7	72	21	△14
	消費財	13	15	62	23	△8	13	7	62	31	△24
	計	27	11	70	19	△8	27	7	67	26	△19
合計	324	4	64	32	△28	321	2	63	35	△33	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において、前期（2012年7～9月）実績よりも大幅に悪化し、かつすべての輸送機関で2ケタのマイナスとなった。

■ 2013年1～3月の見通しでは、すべての輸送機関において『荷動き指数』が引き続き2ケタのマイナスとなるが、外貿コンテナの輸出・輸入では小幅な改善がみられる。一方、国際航空の輸入では横ばいで推移し、国際航空の輸出ではさらに悪化する見通しである。この結果、すべての輸送機関において荷動きの減退が続くものと見込まれる。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ —輸出—

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、繊維・衣服および生産財卸がプラスで、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△26で、前期（2012年7～9月）実績からは14ポイントの大幅な低下となった。

■ 2013年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、精密機械がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は2ポイント上昇して△24と見込まれ、荷動きの減退圧力は若干弱まるものの、減退の動きに変化はないものとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	17	12	47	41	△29	17	12	53	35	△23	
繊維・衣服	14	21	72	7	14	14	29	57	14	15	
木材・家具	7	0	71	29	△29	7	14	72	14	0	
パルプ・紙	17	30	35	35	△5	17	30	35	35	△5	
化学・プラスチック	60	8	54	38	△30	60	5	60	35	△30	
製造業	窯業・土石	17	12	47	41	△29	17	0	53	47	△47
	鉄鋼・非鉄	49	12	45	43	△31	49	8	51	41	△33
	金属製品	21	10	33	57	△47	20	0	50	50	△50
	一般機械	65	13	42	45	△32	65	12	43	45	△33
	電気機械	50	18	42	40	△22	50	20	36	44	△24
	輸送用機械	48	21	46	33	△12	48	23	50	27	△4
	精密機械	15	13	67	20	△7	15	27	53	20	7
	その他	23	4	39	57	△53	22	14	50	36	△22
計	403	14	46	40	△26	401	14	49	37	△23	
卸売業	生産財	8	38	50	12	26	8	25	63	12	13
	消費財	13	8	38	54	△46	13	0	62	38	△38
	計	21	19	43	38	△19	21	9	62	29	△20
合計	424	14	46	40	△26	422	13	50	37	△24	

(2) 外貿コンテナ - 輸入 -

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、生産財卸が唯一プラスを示し、精密機械がゼロ水準で、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△15で、前期（2012年7～9月）実績からは17ポイントの大幅な低下となった。

■ 2013年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、精密機械がプラスに浮上し、木材・家具および化学・プラスチックもゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は2ポイント上昇して△13と見込まれ、荷動きの減退圧力は若干弱まるものとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	22	14	45	41	△ 27	22	10	45	45	△ 35	
繊維・衣服	17	12	53	35	△ 23	17	18	47	35	△ 17	
木材・家具	12	8	50	42	△ 34	12	17	66	17	0	
パルプ・紙	12	8	50	42	△ 34	12	17	50	33	△ 16	
化学・プラスチック	53	8	75	17	△ 9	55	9	82	9	0	
窯業・土石	17	24	47	29	△ 5	17	12	47	41	△ 29	
鉄鋼・非鉄	37	16	52	32	△ 16	37	11	51	38	△ 27	
金属製品	20	10	55	35	△ 25	19	10	53	37	△ 27	
一般機械	62	15	48	37	△ 22	62	21	42	37	△ 16	
電気機械	54	22	50	28	△ 6	55	20	51	29	△ 9	
輸送用機械	52	15	56	29	△ 14	52	17	54	29	△ 12	
精密機械	14	21	58	21	0	14	29	50	21	8	
その他	26	7	62	31	△ 24	25	16	56	28	△ 12	
計	398	14	55	31	△ 17	399	16	54	30	△ 14	
卸売業	生産財	17	35	59	6	29	17	24	59	17	7
	消費財	19	15	53	32	△ 17	19	11	68	21	△ 10
	計	36	25	56	19	6	36	17	64	19	△ 2
合計	434	15	55	30	△ 15	435	16	55	29	△ 13	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、木材・家具および輸送用機械がプラス、生産財卸がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△28で、前期（2012年7～9月）実績からは12ポイントの大幅な低下となった。

■ 2013年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、生産財卸がマイナスに沈み、輸送用機械もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△31と3ポイント低下する見込みで、荷動きの減退圧力はさらに強まるものとみられる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	8	0	37	63	△63	8	0	50	50	△50
繊維・衣服	11	10	45	45	△35	11	9	64	27	△18
木材・家具	5	20	80	0	20	5	20	80	0	20
パルプ・紙	6	17	17	66	△49	6	0	33	67	△67
化学・プラスチック	39	5	72	23	△18	39	3	74	23	△20
窯業・土石	9	11	56	33	△22	9	0	67	33	△33
鉄鋼・非鉄	29	3	59	38	△35	29	3	59	38	△35
金属製品	15	0	47	53	△53	15	7	40	53	△46
一般機械	66	5	56	39	△34	67	4	48	48	△44
電気機械	64	9	50	41	△32	64	11	50	39	△28
輸送用機械	35	20	66	14	6	35	20	60	20	0
精密機械	16	6	75	19	△13	16	6	69	25	△19
その他	16	6	38	56	△50	16	6	38	56	△50
計	319	8	56	36	△28	320	8	55	37	△29
卸売業										
生産財	9	22	56	22	0	9	22	45	33	△11
消費財	11	0	45	55	△55	11	0	45	55	△55
計	20	10	50	40	△30	20	10	45	45	△35
合計	339	8	56	36	△28	340	7	55	38	△31

(4) 国際航空 —輸入—

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無であり、輸送用機械など4業種がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△26で、前期（2012年7～9月）実績からは13ポイントの大幅な低下となった。

■ 2013年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、精密機械および生産財卸がマイナスに落ち込む一方、半数近くの業種において小幅な改善がみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は横ばいで推移し、荷動きは減退が続く見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

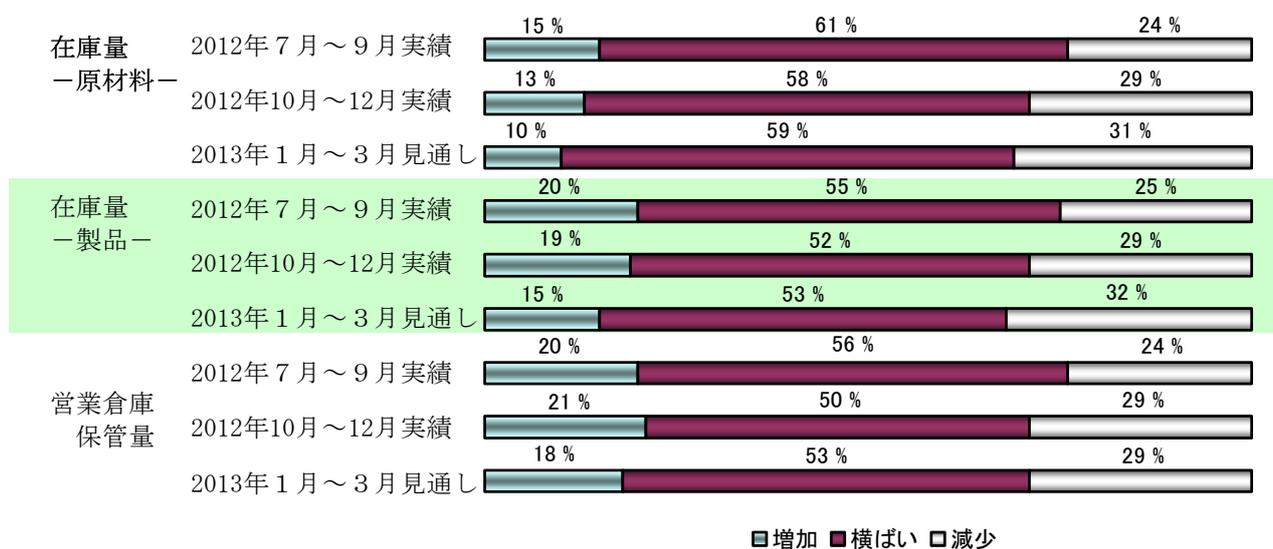
業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	8	0	25	75	△75	8	0	37	63	△63
繊維・衣服	11	9	55	36	△27	11	9	64	27	△18
木材・家具	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
パルプ・紙	4	0	25	75	△75	4	0	25	75	△75
化学・プラスチック	29	0	79	21	△21	29	3	76	21	△18
窯業・土石	9	11	67	22	△11	9	0	78	22	△22
鉄鋼・非鉄	23	4	61	35	△31	23	0	65	35	△35
金属製品	12	0	67	33	△33	12	8	59	33	△25
一般機械	60	5	47	48	△43	59	7	44	49	△42
電気機械	55	13	58	29	△16	55	11	62	27	△16
輸送用機械	34	12	76	12	0	34	15	70	15	0
精密機械	15	13	74	13	0	14	14	65	21	△7
その他	16	0	44	56	△56	16	6	38	56	△50
計	281	7	60	33	△26	279	8	59	33	△25
卸売業										
生産財	10	20	60	20	0	10	0	70	30	△30
消費財	11	10	45	45	△35	11	9	55	36	△27
計	21	14	53	33	△19	21	5	62	33	△28
合計	302	7	60	33	△26	300	7	60	33	△26

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2012年10～12月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも、前期（2012年7～9月）実績より低下し、引き続きすべての『動向指数』がマイナスとなった。

■ 2013年1～3月の見通しについては、いずれの『動向指数』もさらに悪化し、引き続きすべてがマイナスとなる。このため、在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減圧力がいっそう強まる見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、消費財卸が唯一プラスを示し、残り14業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△16で、前期（2012年7～9月）実績からは7ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『在庫動向指数』見通しでは、精密機械がゼロ水準に戻す一方、消費財卸がマイナスに落ち込むほか、大半の業種で悪化が見込まれる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は5ポイント低下して△21となり、原材料在庫の圧縮がさらに進むとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	91	15	56	29	△14	91	10	60	30	△20
	繊維・衣服	42	12	57	31	△19	42	9	60	31	△22
	木材・家具	38	16	50	34	△18	38	26	45	29	△3
	パルプ・紙	43	16	56	28	△12	43	7	65	28	△21
	化学・プラスチック	107	10	67	23	△13	106	8	71	21	△13
	窯業・土石	35	11	72	17	△6	35	6	74	20	△14
	鉄鋼・非鉄	104	14	54	32	△18	104	10	52	38	△28
	金属製品	52	4	63	33	△29	52	2	58	40	△38
	一般機械	90	11	55	34	△23	90	11	51	38	△27
	電気機械	109	11	60	29	△18	109	9	61	30	△21
	輸送用機械	89	18	52	30	△12	90	14	53	33	△19
精密機械	24	25	46	29	△4	24	25	50	25	0	
その他	52	15	52	33	△18	52	4	58	38	△34	
計	876	13	57	30	△17	876	10	58	32	△22	
卸売業	生産財	35	14	69	17	△3	35	17	60	23	△6
	消費財	30	20	63	17	3	30	13	70	17	△4
	計	65	17	66	17	0	65	15	65	20	△5
合計	941	13	58	29	△16	941	10	59	31	△21	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、プラスの業種は皆無で、全15業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△10で、前期（2012年7～9月）実績からは5ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『在庫動向指数』見通しでは、大半の業種で悪化が見込まれ、化学・プラスチックおよび精密機械以外の業種では2ケタのマイナスとなる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は7ポイント低下して△17となり、製品在庫の圧縮がさらに進むとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	94	20	53	27	△7	94	13	60	27	△14
	繊維・衣服	45	22	42	36	△14	45	26	38	36	△10
	木材・家具	40	12	53	35	△23	40	20	50	30	△10
	パルプ・紙	44	22	48	30	△8	44	18	52	30	△12
	化学・プラスチック	110	20	55	25	△5	110	16	62	22	△6
	窯業・土石	35	23	51	26	△3	35	11	63	26	△15
	鉄鋼・非鉄	102	17	49	34	△17	102	17	45	38	△21
	金属製品	52	15	48	37	△22	52	6	54	40	△34
	一般機械	93	19	55	26	△7	94	16	54	30	△14
	電気機械	112	19	51	30	△11	113	16	51	33	△17
	輸送用機械	89	16	53	31	△15	88	9	53	38	△29
精密機械	25	16	56	28	△12	25	20	52	28	△8	
その他	54	22	47	31	△9	54	9	56	35	△26	
計	895	19	51	30	△11	896	15	53	32	△17	
卸売業	生産財	50	18	56	26	△8	50	14	54	32	△18
	消費財	44	18	59	23	△5	44	18	52	30	△12
	計	94	18	58	24	△6	94	16	53	31	△15
合計	989	19	52	29	△10	990	15	53	32	△17	

(3) 営業倉庫保管量

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『保管動向指数』は、繊維・衣服、パルプ・紙、消費財卸の3業種がプラス、生産財卸がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△8で、前期（2012年7～9月）実績からは4ポイントの低下がみられた。

■ 2013年1～3月の『保管動向指数』見通しでは、生産財卸がマイナスに沈み、パルプ・紙もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『保管動向指数』は△11と3ポイント低下する見込みで、営業倉庫保管量には削減圧力が強まる見通しである。

営業倉庫保管量の実績と見通し

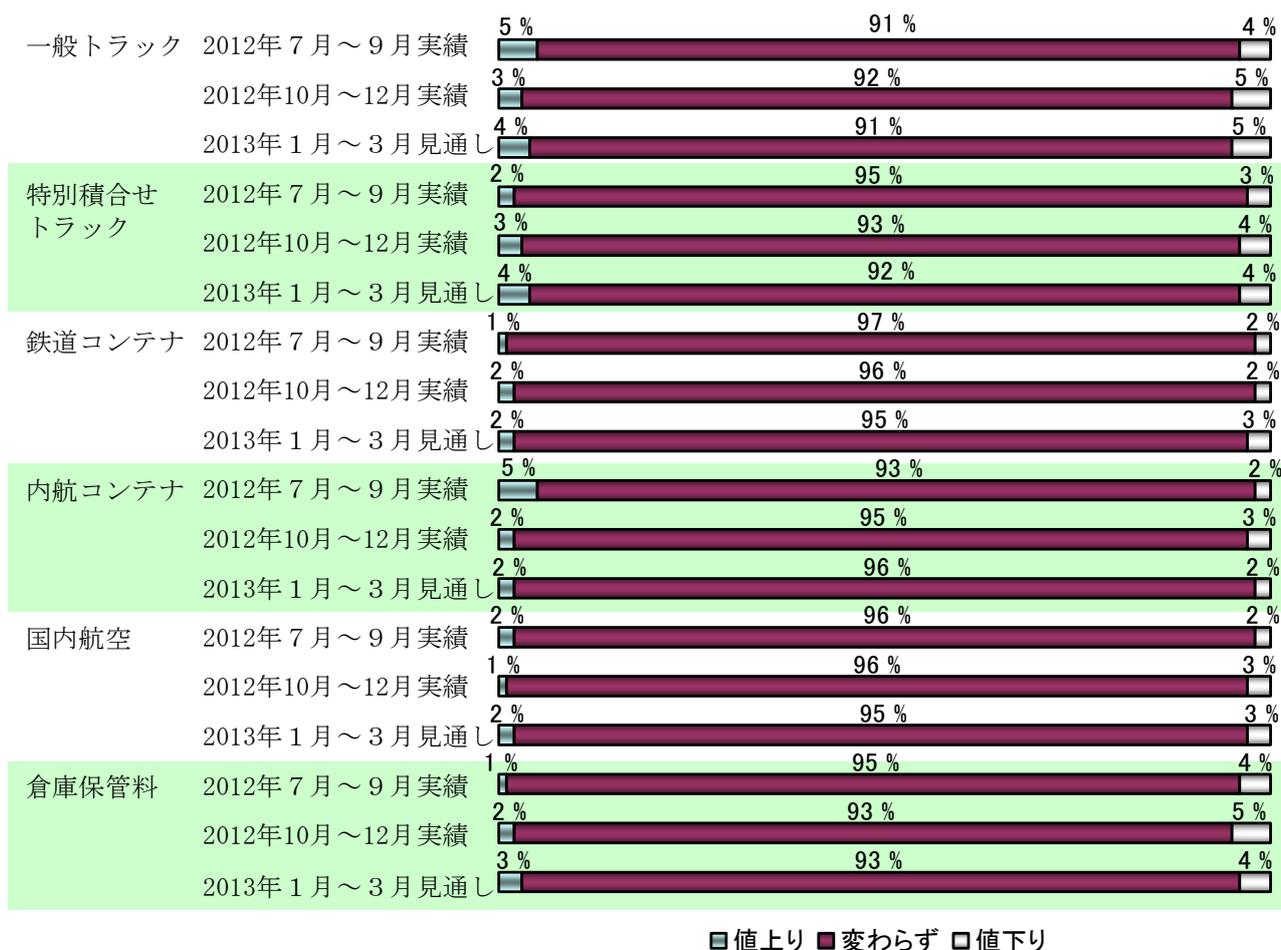
業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	79	22	48	30	△8	78	13	64	23	△10	
繊維・衣服	24	29	50	21	8	24	38	42	20	18	
木材・家具	34	17	59	24	△7	34	14	65	21	△7	
パルプ・紙	38	32	42	26	6	38	26	48	26	0	
化学・プラスチック	96	19	56	25	△6	96	18	56	26	△8	
製造業	窯業・土石	27	18	41	41	△23	26	16	42	42	△26
	鉄鋼・非鉄	72	20	49	31	△11	73	15	49	36	△21
	金属製品	31	16	45	39	△23	31	13	52	35	△22
	一般機械	68	18	51	31	△13	68	19	43	38	△19
	電気機械	80	21	53	26	△5	80	18	56	26	△8
	輸送用機械	59	18	51	31	△13	59	15	53	32	△17
	精密機械	16	31	31	38	△7	16	18	44	38	△20
その他	36	19	42	39	△20	36	19	48	33	△14	
計	660	20	50	30	△10	659	17	53	30	△13	
卸売業	生産財	42	24	52	24	0	42	21	55	24	△3
	消費財	36	22	59	19	3	36	17	69	14	3
	計	78	23	55	22	1	78	19	62	19	0
合計	738	21	50	29	△8	737	18	53	29	△11	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 2012年10～12月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、鉄道コンテナでゼロ水準にとどまる一方、その他の機関ではマイナスとなった。前期（2012年7～9月）実績との比較では、内航コンテナで4ポイント、一般トラックで3ポイント低下した以外は、『動向指数』は小幅の変化で推移した。

■ 2013年1～3月の『動向指数』見通しについては、鉄道コンテナでは弱含み横ばいで推移する一方、その他の機関では小幅な改善がみられる。すべての機関において『動向指数』はゼロ水準±1の範囲内にとどまり、運賃・料金水準の大幅な変動は見込めない。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服、消費財卸など5業種がプラス、パルプ・紙および一般機械がゼロ水準で、鉄鋼・非鉄、金属製品など8業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期(2012年7～9月)実績からは3ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石および一般機械がマイナスに沈む一方、パルプ・紙がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻す。業種全体の『運賃動向指数』は△1と強含み横ばいで推移する見通しで、運賃水準には緩やかな低下が続くものとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	103	2	93	5	△3	102	2	95	3	△1
繊維・衣服	37	8	92	0	8	35	9	91	0	9
木材・家具	44	4	89	7	△3	44	7	86	7	0
パルプ・紙	49	0	100	0	0	49	2	98	0	2
化学・プラスチック	112	3	93	4	△1	111	2	93	5	△3
窯業・土石	38	3	97	0	3	38	0	97	3	△3
鉄鋼・非鉄	107	5	84	11	△6	106	6	83	11	△5
金属製品	55	2	89	9	△7	55	0	89	11	△11
一般機械	97	2	96	2	0	96	1	96	3	△2
電気機械	111	2	92	6	△4	111	3	92	5	△2
輸送用機械	95	6	89	5	1	96	7	92	1	6
精密機械	22	5	86	9	△4	21	4	86	10	△6
その他	55	4	87	9	△5	54	6	85	9	△3
計	925	3	91	6	△3	918	4	91	5	△1
卸売業										
生産財	54	4	94	2	2	54	6	91	3	3
消費財	48	6	94	0	6	48	8	92	0	8
計	102	5	94	1	4	102	7	91	2	5
合計	1,027	3	92	5	△2	1,020	4	91	5	△1

(2) 特別積合せトラック運賃

- 2012年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、生産財卸など5業種がプラス、食料品・飲料など5業種がゼロ水準で、電気機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期(2012年7～9月)実績からは横ばいで推移した。
- 2013年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品およびその他の製造業がマイナスに沈む一方、食料品・飲料、木材・家具、消費財卸がプラスに浮上する。業種全体の『運賃動向指数』は強含み横ばいで推移してゼロ水準と見込まれ、運賃水準は現状維持となる見通しである。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	66	3	94	3	0	66	6	92	2	4
繊維・衣服	31	3	97	0	3	29	3	97	0	3
木材・家具	31	3	94	3	0	31	6	91	3	3
パルプ・紙	33	3	97	0	3	33	6	94	0	6
化学・プラスチック	94	0	96	4	△4	93	1	93	6	△5
窯業・土石	28	4	96	0	4	28	4	96	0	4
鉄鋼・非鉄	65	3	91	6	△3	64	3	91	6	△3
金属製品	42	2	96	2	0	42	0	98	2	△2
一般機械	77	0	99	1	△1	76	1	96	3	△2
電気機械	96	1	92	7	△6	95	3	91	6	△3
輸送用機械	69	7	87	6	1	68	6	93	1	5
精密機械	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
その他	40	5	90	5	0	39	5	87	8	△3
計	688	2	94	4	△2	680	3	93	4	△1
卸売業										
生産財	51	8	90	2	6	51	12	86	2	10
消費財	36	3	94	3	0	35	3	97	0	3
計	87	6	92	2	4	86	8	91	1	7
合計	775	3	93	4	△1	766	4	92	4	0

(3) 鉄道コンテナ運賃

- 2012年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、木材・家具、輸送用機械の3業種がプラス、化学・プラスチックなど7業種がゼロ水準で、精密機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期(2012年7～9月)実績からは強含み横ばいで推移した。
- 2013年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品がゼロ水準に戻す一方、化学・プラスチックがマイナスに落ち込むほか、食料品・飲料もゼロ水準まで下降する。業種全体の『運賃動向指数』は△1と弱含み横ばいで推移する見通しで、運賃水準には緩やかな低下が見込まれる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	51	2	98	0	2	51	2	96	2	0
繊維・衣服	12	0	100	0	0	10	0	100	0	0
木材・家具	22	5	95	0	5	22	5	95	0	5
パルプ・紙	34	0	97	3	△3	34	0	97	3	△3
化学・プラスチック	79	0	100	0	0	79	0	99	1	△1
窯業・土石	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	47	2	96	2	0	47	4	92	4	0
金属製品	26	0	96	4	△4	26	4	92	4	0
一般機械	38	0	95	5	△5	38	0	92	8	△8
電気機械	40	0	100	0	0	40	0	100	0	0
輸送用機械	32	13	81	6	7	31	13	87	0	13
精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
その他	20	5	85	10	△5	20	5	85	10	△5
計	424	2	96	2	0	421	2	95	3	△1
卸売業										
生産財	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
消費財	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0
計	27	0	100	0	0	27	0	100	0	0
合計	451	2	96	2	0	448	2	95	3	△1

(4) 内航コンテナ運賃

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石など4業種がプラス、食料品・飲料など7業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は前期(2012年7～9月)実績より4ポイント低下して△1と、2010年1～3月実績以来のマイナスに転じた。

■ 2013年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に下降する一方、食料品・飲料がプラスに浮上し、電気機械および輸送用機械のプラス幅が拡大する以外に動きはみられない。業種全体の『運賃動向指数』は強含み横ばいで推移してゼロ水準と見込まれ、運賃水準は現状維持となる見通しである。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	31	3	94	3	0	31	3	97	0	3
繊維・衣服	6	0	100	0	0	5	0	100	0	0
木材・家具	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
パルプ・紙	16	6	94	0	6	16	0	100	0	0
化学・プラスチック	45	2	96	2	0	45	2	96	2	0
窯業・土石	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
鉄鋼・非鉄	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
金属製品	14	0	93	7	△7	14	0	93	7	△7
一般機械	36	0	97	3	△3	36	0	97	3	△3
電気機械	35	3	97	0	3	35	6	94	0	6
輸送用機械	22	9	86	5	4	21	10	90	0	10
精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
その他	15	0	87	13	△13	15	0	87	13	△13
計	276	3	94	3	0	274	3	95	2	1
卸売業										
生産財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
消費財	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
計	23	0	100	0	0	23	0	100	0	0
合計	299	2	95	3	△1	297	2	96	2	0

(5) 国内航空運賃

- 2012年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、輸送用機械、消費財卸の3業種がプラス、化学・プラスチックなど6業種がゼロ水準で、精密機械など6業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期(2012年7～9月)実績からは2ポイント低下した。
- 2013年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上し、電気機械もゼロ水準まで戻すとともに、一般機械のマイナス幅が若干縮小する以外に動きはみられない。業種全体の『運賃動向指数』は強含み横ばいで推移して△1となる見通しで、運賃水準には緩やかな低下が続くものとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	22	5	95	0	5	22	5	95	0	5
繊維・衣服	11	0	100	0	0	10	10	90	0	10
木材・家具	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
化学・プラスチック	34	0	100	0	0	34	0	100	0	0
窯業・土石	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	24	0	96	4	△4	24	0	96	4	△4
金属製品	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
一般機械	56	0	96	4	△4	56	2	93	5	△3
電気機械	54	0	98	2	△2	54	2	96	2	0
輸送用機械	25	4	96	0	4	25	4	96	0	4
精密機械	12	0	83	17	△17	12	0	83	17	△17
その他	15	0	87	13	△13	15	0	87	13	△13
計	295	1	96	3	△2	294	2	95	3	△1
卸売業										
生産財	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
消費財	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
計	27	4	96	0	4	27	4	96	0	4
合計	322	1	96	3	△2	321	2	95	3	△1

(6) 営業倉庫保管料金

■ 2012年10～12月実績（見込み）の『料金動向指数』は、繊維・衣服、生産財卸、消費財卸の3業種がプラス、パルプ・紙など3業種がゼロ水準で、金属製品など9業種がマイナスとなった。業種全体の『料金動向指数』は△3で、前期（2012年7～9月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2013年1～3月の『料金動向指数』見通しでは、生産財卸がゼロ水準に下降する一方、食料品・飲料がゼロ水準まで戻すほか、繊維・衣服のプラス幅が拡大する。業種全体の『料金動向指数』は2ポイント上昇して△1と見込まれ、料金水準には緩やかな低下が続くものとみられる。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	62	2	92	6	△4	62	2	96	2	0
繊維・衣服	19	11	89	0	11	18	17	83	0	17
木材・家具	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0
パルプ・紙	38	3	94	3	0	38	3	94	3	0
化学・プラスチック	88	0	97	3	△3	88	1	94	5	△4
窯業・土石	19	0	95	5	△5	19	0	95	5	△5
鉄鋼・非鉄	58	0	98	2	△2	58	0	98	2	△2
金属製品	24	0	92	8	△8	24	4	83	13	△9
一般機械	64	2	92	6	△4	64	3	91	6	△3
電気機械	70	3	93	4	△1	70	3	91	6	△3
輸送用機械	63	4	86	10	△6	63	6	86	8	△2
精密機械	13	8	84	8	0	13	8	84	8	0
その他	34	3	88	9	△6	34	3	91	6	△3
計	576	2	93	5	△3	575	3	92	5	△2
卸売業										
生産財	36	3	97	0	3	36	3	94	3	0
消費財	25	8	92	0	8	25	4	96	0	4
計	61	5	95	0	5	61	3	95	2	1
合計	637	2	93	5	△3	636	3	93	4	△1

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2012年10～12月実績（見込み）の『動向指数』は、その他の製造業、生産財卸など9業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、輸送用機械など5業種がマイナスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス3で、前期（2012年7～9月）実績からは3ポイント低下した。

■ 2013年1～3月の『動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上し、精密機械もゼロ水準まで戻す一方、一般機械など4業種がマイナスに反転する。この結果、業種全体の『動向指数』は3ポイント低下してゼロ水準となり、物流コスト割合は横ばいで推移する見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業種	2012年10月～12月実績					2013年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
食料品・飲料	102	22	63	15	7	102	20	69	11	9	
繊維・衣服	47	13	74	13	0	47	21	66	13	8	
木材・家具	43	23	65	12	11	43	26	63	11	15	
パルプ・紙	49	12	78	10	2	49	8	82	10	△ 2	
化学・プラスチック	114	18	69	13	5	114	18	66	16	2	
製造業	窯業・土石	39	17	62	21	△ 4	39	13	64	23	△ 10
	鉄鋼・非鉄	108	14	68	18	△ 4	108	17	64	19	△ 2
	金属製品	57	14	63	23	△ 9	55	7	71	22	△ 15
	一般機械	98	16	70	14	2	98	14	66	20	△ 6
	電気機械	122	22	57	21	1	122	19	61	20	△ 1
	輸送用機械	98	19	52	29	△ 10	98	17	52	31	△ 14
	精密機械	26	7	81	12	△ 5	26	15	70	15	0
その他	56	29	63	8	21	56	23	68	9	14	
計	959	18	65	17	1	957	17	65	18	△ 1	
卸売業	生産財	61	23	70	7	16	61	16	77	7	9
	消費財	52	19	64	17	2	52	17	64	19	△ 2
	計	113	21	67	12	9	113	17	71	12	5
合計	1,072	19	65	16	3	1,070	17	66	17	0	